



これだけは作ろう？ 1

1/8 モ子ちゃんのアクリルベース工作

担当 MSM12R

《アクリルベース加工について》
フィギュアをディスプレイする上で重要な要素となる「ベース」。キットには約 15cm 四方の 2.0mm 厚「集光アクリル板」を付属させています。ベース、特に切り口が発光するかのように輝き、フィギュアの見栄えを良くすることでしょう。

完成写真見本のような星型ベースを作るには、アクリル板をカット加工することになります。このキットをお求めになり、仕上げることができる方ならば一見簡単な加工です。しかしアクリル板をプラ板と同じように扱おうと、思わぬ失敗をすることになります。以下の説明をよく読み、注意深く工作してください。

1. 工具の準備

カッターナイフ、デザインナイフ、Pカッターに金尺を用意します。また、ベースをミニ三脚に取り付けられるようにネジ穴を切る場合は、5mm 系のドリルやリーマー、カメ

ラ三脚用のタップ（1/4 インチねじを切る専用のタップ）があるとよいでしょう。タップはヨドバシカメラ等カメラ専門店の補修工具エリアで手に入ります。穴を開けたくない場合は、1/4 インチのナットをエポキシ系接着剤で固定するとよいでしょう。

2. アクリル加工

このペーパーをコピーして、原寸のガイド図をアクリル板に重ねます。アクリル板に貼り付いている茶色い薄紙は、最後の段階まで残して工作すると表面に傷が入るのを抑えることができます。

ガイド図の上から、デザインナイフと金尺を使って軽めになぞります。その後ガイド図を除き、ナイフ跡を鉛筆等で軽くなぞります。

本格的なカットにはナイフまたはデザインナイフで、鉛筆線を丁寧に何度もけがく作業を繰り返します。この際、ある程度の溝ができれば P

カッターで溝を深く掘り下げると比較的楽です。

とはいえ、2.0mm 厚のアクリル板は堅く、簡単にカットはできません。通常 Pカッターはある程度溝が深くなった段階で板に力を加え、「割る」ことで切断しますが、**これはなるべく避けてください**。星型にカットする場合、割る力を加えるとカットしたい部分のみならず、中心に向かって割れる危険性が大です。**割りたいという誘惑に負けないように**。ある程度溝が深くなったら、裏面の茶色紙を剥がして、慎重にカッターナイフの刃を溝をなぞるように入れてやると気持ち切断が早くなります。



<失敗例>
もう大丈夫かな、と思って「割り切断」しようとして失敗した例。肝心のベース部分にも深裂な亀裂が入る。こうなるとは今までの細心の注意も水の泡。

とにかく割らないように、辛抱強く「カット」できるまで溝を深く掘り下げる必要があります。

3. 穿孔

原寸図の丸記号箇所を穿孔し、タップを用いてねじ切りします。ラビ君を固定するための穴は 1.5mm 径。原寸図位置を参考にしてください。

タップ加工が困難な場合は、穴を開ける位置に 1/4 インチねじのナットをエポキシ系接着剤等で固定すると良いでしょう。1/4 インチねじは DIY ショップやハンズ等で販売されています。



© ふじたゆきひさ
<ディスプレイ例>
ミニ三脚で少し傾けて飾ると、ガイドブックの表紙イメージに近づく気がします。

《原寸図》

